

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

## A-18 胆石症診療ガイドライン 2016 改訂第 2 版

日本消化器病学会編集 胆石症診療ガイドライン委員会

(委員長: 田妻進 広島大学総合内科・総合診療科)

南江堂、2016 年 2 月 10 日 改訂第 2 版発行

Grading Scale of Strength of Evidence

- A: 質の高いエビデンス (High)
- B: 中程度の質のエビデンス (Moderate)
- C: 質の低いエビデンス (Low)
- D: 非常に質の低いエビデンス (Very Low)

Grading Scale of Strength of Recommendation

- 1: 強い推奨
  - “実施する”ことを推奨する
  - “実施しない”ことを推奨する
- 2: 弱い推奨
  - “実施する”ことを提案する
  - “実施しない”ことを提案する

### ■A18-1 茵陈蒿湯

疾患:

肝内胆石

引用など:

正田純一, 田中直美, 跡見裕. 肝内結石の変遷ならびに内科的処置. *肝・胆・膵* 2006; 52: 773-82. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

CPG 中の Strength of Evidence:

D: 非常に質の低いエビデンス (Very Low)

CPG 中の Strength of Recommendation:

2: 弱い推奨  
“実施しない”ことを提案する

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ3-15 薬物療法の適応は？

ステートメント: 結石溶解療法として有効性が証明されている薬剤はなく、投与しないことを提案する。』の解説の項に、下記の記載がある。

『肝内結石に対する薬物療法の有用性に関する報告は少なく、また、大規模検討もみられな  
いため、明確な結論を出すことは困難である。(中略) このことから有効性の可能性がある  
薬剤として、高脂血症薬であるフィブラート製剤、インチンコウ湯、コレステロール胆石症の経  
口溶解薬として使用されているウルソデオキシコール酸 (UDCA) があげられている。』